

新方式(脱Java)FAQ

更新日
2020/7/7

項番	カテゴリ	質問内容	回答内容
1	端末設定	新方式(脱Java)用の設定期限はいつか。	2020年9月28日から新方式(脱Java)に切り替わります。そのため、2020年9月27日までに設定を完了させてください。新方式(脱Java)用の設定を実施しても、現行システムはご利用になれますので、早めの対応をお願いします。
2	端末設定	電子入札クライアントアプリの更新方法が知りたい。	認証局によって、設定方法は異なりますので、お手数ですがご利用の認証局にお問合せください。
3	端末設定	新方式(脱Java)対応を実施するために、何が必要か。(工事業者、物品業者)	1.補助アプリのインストール 2.電子入札クライアントアプリの更新 ※詳細は入札参加者ポータルサイトをご確認ください。
4	端末設定	補助アプリをインストールする前に、Java(JRE)の削除は必要か。	補助アプリとJREは同一PCにインストールできるため、Java(JRE)を削除する必要はありません。
5	端末設定	新方式(脱Java)設定後はJava(JRE)の削除は必要か。	現行システム利用期間(9月27日まで)は削除しないでください。ただし、9月28日の新方式(脱Java)切り替え後は、JREを削除するようにお願いします。
6	端末設定	事前検証ツールを実行すると、許可URLリストが設定されていないとのメッセージが表示された。	許可URLは認証局のソフトで自動的に設定されます。認証局によって設定方法は異なるので、詳細については、お手数ですがご利用の認証局にお問合せください。
7	現行システムの利用	端末を新方式(脱Java)対応した後も現行システムは利用できるのか。	現行方式と新方式(脱Java)はPC内で共存します。9月27日までは現行システムの設定で動作し、9月28日からは新方式(脱Java)で動作します。したがって、新方式対応後も現行システムは利用可能です。
8	現行システムの利用	複数の電子調達システムを利用しており、各システムの新方式(脱Java)への切り替え日が違う。新方式(脱Java)対応後、異なる方式の電子調達システムを1台のPCで利用できるのか。	現行方式と新方式(脱Java)はPC内で共存します。電子調達端末は、利用する電子調達システムの方式にあわせ動作します。したがって1台のPCで利用可能です。
9	現行システムの利用	補助アプリのみで現行システム(脱Java前のシステム)にログインできるか。	できません。補助アプリは脱Java後のシステムに対応しております。現行システム(脱Java前)にログインする場合は、JREが必要となります。
10	新方式(脱Java)システムの利用	新方式(脱Java)に切替え後、Java(JRE)でログインできなくなるのか。	ログインできなくなります。脱Java対応後は補助アプリでシステムをご利用ください。
11	新方式(脱Java)システムの利用	補助アプリを使用しないで、電子入札システムを利用する方法はないか。	ありません。脱Java対応後はJREでのログインはできなくなるので、期限までに補助アプリをはじめとする設定を実施してください。
12	新方式(脱Java)システムの利用	新方式(脱Java)切り替え後に電子調達のURLは変更されるのか。	変更されません。URLは現行のままです。
13	新方式(脱Java)システムの利用	新方式(脱Java)切り替え後に再度利用者登録は必要か。	利用者登録の再実施は不要です。切り替え前の利用者情報を継続利用できます。
14	新方式(脱Java)システムの利用	新方式(脱Java)に切り替わることで画面や操作は変わるのか。	インストールするアプリケーションが変わるだけで、画面や操作は変わりません。
15	新方式(脱Java)システムの利用	新方式(脱Java)に切り替わることで処理速度は変わるのか。	処理速度に特に変化はございません。
16	新方式(脱Java)システムの利用	新方式(脱Java)切り替え後、電子入札システムのURLは「検証用サイトのURL」に変わるのか。	URLは変わりません。現行のままです。検証用サイトは検証専用です。またURLも一時的なものです。